

重要取組シート

健康福祉局 保健所 動物指導センター

取組項目		動物愛護事業の推進
現状・課題		- 動物の適正な飼養及び管理の推進 収容動物への治療等を十分に行う機能の充実や、収容動物の返還譲渡率を向上、適正な飼養管理に関する啓発、地域猫活動の推進が必要 - 動物愛護の普及啓発 動物の飼養に関して市民が体験、学習できる機会の創出や、民間団体との連携、動物愛護ボランティアの育成が必要 - 動物にかかる災害時対応 災害時における動物救護拠点としての役割を備えることが必要
取組の内容		- 動物指導センター施設の更新（建替え） 更新施設の設計業務を実施 基本設計後、更新施設の概算工事費用を積算し、工事予算を要求 概算建築場所の地質調査を実施 - 民間団体等と連携した動物愛護事業の充実・災害時における動物救護体制の整備 地域猫活動団体への支援拡充（助成頭数最大 15 頭から 30 頭へ） ミルクボランティア事業を開始（ボランティアの募集） 収容犬の馴化訓練など民間と連携した事業を検討 動物救護連絡会で災害時における避難所でのペット対応事業について検討
スケジュール	前期 （～7 月）	☐ 愛護事業 ミルクボランティア募集開始（5 月～） 災害時における避難所でのペット対応事業検討（5 月） ☐ 施設更新 設計業務（公告・入札・決定・締結）（6 月～8 月） 設計業務（基本設計）開始（9 月～）
	中期 （～11 月）	☐ 愛護事業 動物愛護教室実施（8 月） 災害時における避難所でのペット対応事業検討（10 月） ☐ 施設更新 建設工事概算費用算出・予算要求（11 月～12 月） 地質調査業務（公告・入札・締結）（8 月～10 月）
	後期 （～3 月）	☐ 施設更新 基本設計完了（～3 月） 地質調査業務実施（11 月～2 月） ☐ 愛護事業 民間連携した収容犬馴化訓練の事業化検討（～3 月） 災害時における避難所でのペット対応事業検討（3 月）
	次年度 以降	☐ 施設更新 設計業務（実施設計）（R7 年 4 月～9 月） 建替工事 事業者選定・議会承認（R7 年 10 月～R8 年 3 月） 建替工事（R8 年 4 月～R9 年 3 月） 更新施設一部供用開始（R9 年 4 月～） 外構整備工事（R9 年 7 月～R9 年 12 月）
進捗の状況	前期 （～7 月）	☐ 愛護事業 ミルクボランティア募集開始（5 月） 民間連携した収容犬馴化訓練事業開始（5 月） 災害時における避難所でのペット対応事業検討（5 月～7 月） ☐ 施設更新 設計業務 公告（6 月）、入札（7 月）

	中期 (～11月)	☐ 愛護事業 動物愛護教室実施(8月) 災害時における避難所でのペット対応事業検討(8月～11月) ☐ 施設更新 設計業務 落札者決定・締結(8月) 設計業務(基本設計)開始(9月) 建設工事概算費用算出・予算要求(11月～12月)(予定) 地質調査業務 公告(8月)、入札・締結(9月)		
	後期 (～3月)			
2025 堺市基本計画	該当する 施策			
	寄与する KPI			目標値(2025年度) -----
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 -----		
	寄与する KPI			目標値(2025年度) -----